

松江市街地の内水処理計画を審議しました。

平成24年3月29日（木）に島根県市町村振興センターにおいて「第4回松江市街地治水対策検討委員会」を開催し、①天神川の治水計画案及び②松江市街地の内水処理計画について審議し、了承されました。

【①天神川の治水計画について】

天神川は、藩政時代に開削された人工河川で、宍道湖から中海まで大橋川とほぼ平行して流れています。昭和40年代から護岸整備を行い、概ね暫定改修済です。

天神川の治水計画は、大橋川が河川整備計画（今後20年間の計画）で改修されることを考慮し、現在の整備状況における治水安全度の検証を行い、天神川の治水対策の方向性を以下に示し、了承されました。



- 概ね50年に1回発生する洪水に対して治水安全度が確保されることから、当面は、現在の状況で治水及び環境に配慮しながら適切な管理を行う。
- しかし、近年、局地的豪雨が増加傾向にあり、将来的には局地的豪雨による洪水に対して治水安全度が確保されるよう検討する。

【②松江市街地の内水処理計画について】

将来想定される土地利用状況と大橋川の河川整備状況を考慮した内水処理計画を検討し、内水処理計画の方向性を以下に示し、了承されました。

【橋北地区】

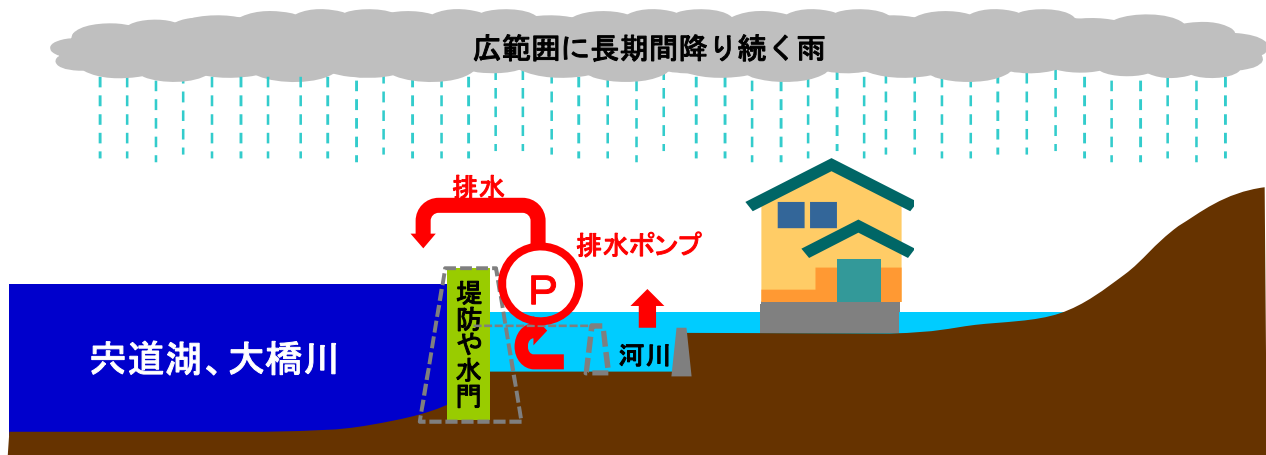
- 上追子川に内水排除ポンプ5m³/sを増設。

【橋南地区】

- 大橋川の河川整備（今後20年間の計画）後は、新設される天神川水門の操作により対応。

【内水排除ポンプのイメージ】

洪水末期に、宍道湖や大橋川の水位が高い場合に、市街地に降った雨水が自然排水できず、浸水被害が発生する場合があります。この対策として、内水排除ポンプや水門操作等による内水処理対策を行います。



【委員会でのご意見】

天神川の治水計画案及び松江市街地の内水処理計画に対して、委員の方々から検討におけるご意見や留意事項など貴重な意見を頂きました。主なご意見と回答は次のとおりです。

【主な意見】

天神川の未改修区間の影響はどの様に考えているのか。



治水対策上は問題ありませんが、自然護岸でありますので、維持管理上問題があれば対応したいと考えています。

審議することも大事だが、実行も大事。やるべき所をできるだけ早くやってほしい。



内水計画については、上追子川に5m³/s増設する方向性を示しましたので、これから準備をしていきたいと考えています。

【松江堀川の治水計画（案）に係る意見募集結果について】

第1回から第3回検討委員会を経て松江堀川の治水計画（案）についてとりまとめ、地域住民の意見を参考にするため、計画（案）に対して平成23年9月から10月にかけて意見募集を実施しました。

また、松江堀川治水計画（案）について住民の理解を深めてもらうとともに直接ご意見を聴くために、平成24年1月から2月にかけて市内4箇所で住民説明会を開催しました。

皆様方から頂いたご意見も踏まえ、松江堀川の治水計画（案）について検討し、第5回検討委員会に諮る予定です。

意見募集や住民説明会による主なご意見と県・松江市の現時点での考え方は次のとおりです。

【主なご意見】

3案の治水計画案を比較するために、これまでの評価軸に加え、時間的・財政的な制約等を加味した新たな評価軸を検討すべき



今回提案した治水計画案につきましては、安全性、地域社会への影響、環境への影響、コストの評価項目で評価しておりますが、時間的・財政的な評価軸を加えて評価し、治水計画案を検討します。

松江堀川上流域の住宅等には、各戸で雨水貯留施設を設置し、またそれを促す施策の実施を望む。



雨水貯留施設の整備は、今回の治水計画に含めておりません。浸水が頻発する地区への対応や局地的な豪雨へのソフト対策は別途検討していきます。

放水路の幅が1.55mでは不足。もっと広い幅が必要。



放水路の幅につきましては、今回提案していただいた案も含めて検討します。

【今後の予定】

次回検討委員会では、松江堀川の治水計画案及び松江市街地治水計画の整備の優先順位について検討する予定です。

お問い合わせ先：松江市街地治水対策検討委員会 事務局

島根県土木部河川課

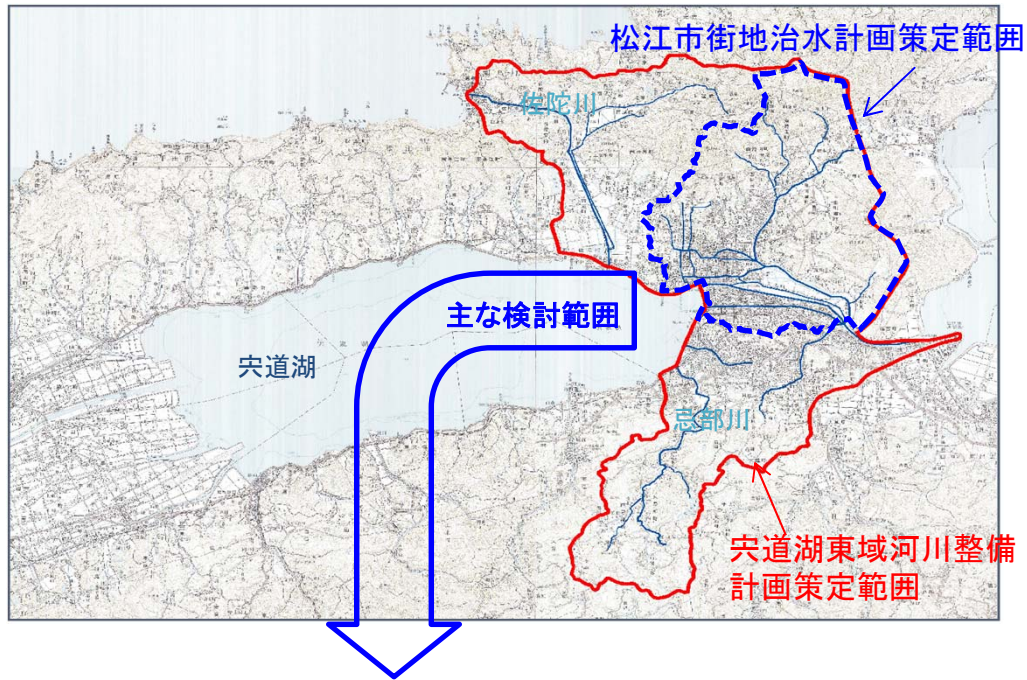
企画調査グループリーダー 星野 充孝

TEL:0852-22-6747 / FAX:0852-22-5681

↓松江市街地治水対策検討委員会の情報はこちらをご覧ください↓

http://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/matsuetisui/tisui_top.html

突道湖東域河川整備計画（松江市街地治水計画） 策定範囲



松江市街地治水計画策定範囲

